

研究活動 Research Activities

大屋美那/Mina OYA

[展覧会企画・構成・監修]

「平成14-18年度新収蔵版画作品展」、国立西洋美術館、(2007年3月6日) - 6月3日

「国立美術館巡回展」企画・運営、姫路市立美術館、松本市美術館、2007年11月4日 - 12月2日(姫路)、12月11日 - 2008年2月3日(松本)

「フランク・ブラングイン展」(仮称)(2009年度開催予定)企画、国立西洋美術館

[執筆活動]

「国立西洋美術館のコレクション—序にかえて」、章解説、作品解説、編集、『国立美術館巡回展』カタログ

[調査活動]

他館等調査:「フランク・ブラングイン」展作品調査、カナダ・ナショナル・ギャラリー(オタワ)、個人(カナダ)ほか、2007年5月31日 - 6月4日

「フランク・ブラングイン」展作品調査、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ(ロンドン)、ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館(ロンドン)、ウィリアム・モリス・ギャラリー(ウォルサムストウ)ほか、2007年9月16日 - 9月29日

情報・資料収集:松方幸次郎および松方コレクションに関する文献調査、収集

[版画素描室の活動]

作品購入に関する業務

版画素描データベース管理

閲覧者対応

[出張]

作品貸出のためのクーリエ、カナダ・ナショナル・ギャラリー(オタワ)、2007年5月28日 - 5月30日

[教育活動]

非常勤講師等:東京大学情報メディア表現論講師、2007年11月8日

慶應義塾大学文学部仏文科講師、2007年11月29日、12月6日

一般への講演等:『ロダン展』講演会「ロダンと彫刻の象徴主義」、兵庫県立美術館、2007年4月22日

Fun with Collection 講演会「コレクションと美術館」、国立西洋美術館、2007年7月29日

国立美術館巡回展講演会「松方コレクションと国立西洋美術館」、松本市美術館、2008年1月19日

[普及活動]

来館者対応:ソルボンヌ大学ルメン教授、国立西洋美術館、2007年10月10日

UNESCO視察、国立西洋美術館、2007年11月9日

来館グループ対応:慶應義塾中学校、国立西洋美術館、2007年11月7日

[外部資金]

平成19年度ポーラ美術財団研究助成金「フランク・ブラングイン研究」

河口公男/Kimio KAWAGUCHI

[保存修復処置]

絵画修復処置2点

額縁 ボニファーテヨ=ヴェロネーゼ作品額修復処置他2点(岡崎純生、河口公男)

前庭彫刻《地獄の門》《カレーの市民》《考える人》《アダム》《エヴァ》《弓を引くヘラクレス》保守業務

屋内彫刻免震化業務(表面洗浄、彫刻取り付け金物製作、彫刻の石台座製作、石台座への固定)

ロダン作品5点

マイヨール作品5点

ブールデル作品6点

コワズヴォ作品1点

(辺牟木尚美、河口公男)

[調査研究]

簡易すべり板免震装置の加震実験のための基礎研究、愛知工業大学土木工学科(青木徹彦教授)と共同調査

[貸出業務]

絵画作品貸出処置3点

平成19年度巡回展貸出業務

[工事関係]

新館空調工事ワーキング業務

新館空調工事に伴う業務(企画館収蔵庫積層棚設置工事)

[招待発表]

2007年Getty国際シンポジウム(イスタンブール)

“Seismic Isolation for The Gate of Hell”

Symposium “Seismic Mitigation for Museum Collections” Istanbul, Pera and Inan Kirak Foundation Pera Museum

J. Paul Getty Museum colloquium Project, 4th and 5th June, 07

[ワークショップ招待]

Workshop, Inherent Vice: the Replica and its Implications in Modern Sculpture

Tate Modern on 18 and 19 October, 07 London

[業務出張]

免震シンポジウム、愛知工業大学、2007年11月

中国アモイ・福州石台座製品検査、2008年3月

川口雅子/Masako KAWAGUCHI

[情報資料室の活動]

研究資料センターの公開運用

国立西洋美術館所蔵作品データベースのウェブ公開(日本語版)

収蔵作品データ整備(絵画、彫刻、工芸、版画、素描、書籍等の来歴・展覧会歴・文献歴データ変換、版画画像デジタル化、冊子版「総目録」からの遡及入力)

ウェブサイトの全面リニューアル
資料コーナーの公開運用
ファイルサーバー、ドメイン管理等

[研究活動]

論文:「作品情報としての常設展目録:美術館ウェブサイトとコレクション・データベースをめぐって」『国立西洋美術館研究紀要』No.12、2008年、pp.5-17

口頭発表:「美術館におけるアーカイブの位置と可能性」美術史学会美術館博物館委員会東西合同シンポジウム「学芸員の逆襲:ミュージアムの過去・現在・未来」、東京都美術館講堂、2007年4月21日(再録:『LR Returns』2号、2007年、pp.18-22)

[調査活動]

エフェメラ(一過性資料)の整理・公開方法についての検討

他機関調査:ワシントン、ナショナル・ギャラリー学芸記録部門・同アーカイブズ部門、アメリカ美術アーカイブズ、国立肖像画館(ワシントン)図書館等

[外部資金]

平成19年度日本学術振興会科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「国立西洋美術館所蔵作品データベース」

[その他の活動]

玉川大学非常勤講師「視聴覚教育メディア論」、2007年10月-2008年3月

幸福輝/Akira KOFUKU

[資料翻訳]

カーレル・ファン・マンデル『絵画書』翻訳(1)「ファン・エイク兄弟」、『国立西洋美術館研究紀要』No.12

[講演など]

「ブリュゲルの《イカソスの墜落》と隠されたイタリア」、国立国際美術館、2007年4月

「ルーベンスのなかのブリュゲル」、鹿児島市立美術館、2007年8月

「西洋絵画への誘い:ラフとスムーズ」、高岡市立美術館、2007年8月

「フェルメールの《牛乳をそそぐ女》とオランダ風俗画の世界」(全2回)、NHK青山文化センター、2007年10月

[調査活動]

大英博物館版画素描室でオランダ・フランドル版画に関する調査

「ルーヴル美術館展—17世紀ヨーロッパ絵画」(2009年開催)の準備

「レンブラント展」(仮)(2011年開催予定)の準備

購入作品フィリップス・ハレ《キリストの復活》およびリユカス・フォルステルマン《農民の喧嘩》(ともにブリュゲルの原図による)の調査

[教育活動]

お茶の水女子大学文教育学部非常勤講師、2007年10月-2008年3月

女子美術大学美術学部非常勤講師、2007年4月-2008年3月

[普及活動]

展覧会カタログ『国立西洋美術館所蔵ヨーロッパ美術の精華』作品解説執筆

[その他]

新潟県立近代美術館収集委員

鹿島美術財団推薦委員

佐藤直樹/Naoki SATO

[展覧会企画]

「ヴィルヘルム・ハンマースホイ」企画・構成・監修、2008年9月30日-12月7日開催予定(ロンドン、ロイヤル・アカデミー:2007年6月24日-9月7日)

小企画「祈りの中世—ロマネスク美術写真展」(版画素描展示室)、2007年6月12日-8月26日開催

「デューラー版画素描展(仮)」企画・構成・監修、2010年10月下旬-2011年1月下旬開催予定

[調査研究活動]

ハンマースホイ展:ロンドン展の準備、コペンハーゲンで出品交渉および調査研究

デューラー版画素描展:オーストラリア、メルボルン・ヴィクトリア美術館と出品交渉および作品調査

「デューラーとイタリア版画—ヤーコポ・デ・バルバリとマルカントニオ・ライモンディをめぐって」平成15年度-18年度科学研究費補助金基盤研究(B)報告書(研究代表者:幸福輝)

「ドイツ・ルネサンスの版画芸術、アルブレヒト・デューラーを中心に」巡回展「神々と自然」記念講演、姫路市立美術館、2007年11月18日

平成19年度-20年度科学研究費(基盤研究(A)一般)「19世紀西欧における「ラファエッロ以前」問題の研究」デューラー・リバイバルについて

国立西洋美術館50周年記念『名作選』英語版の出版準備と英訳校正

作品解説『国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパ美術の精華』カタログ

[研究企画室の活動]

2005年度国立西洋美術館年報No.41の編集

展覧会企画計画の調整

インターンの採用の調整

客員研究員採用の調整

海外出張の調整

[教育活動]

日本女子大学文学部史学科、講座:西洋美術史「ロマン主義の美術」、2007年4月-8月

東京藝術大学美術学部芸術学科、特講「国立西洋美術館の作品調査研究」、2007年9月-2008年3月

国立美術館巡回展講演会「アルブレヒト・デューラーの版画芸術」、2007年11月18日、姫路市立美術館

新藤 淳/Atsushi SHINFUJI

[展覧会補佐]

国立西洋美術館:「ムンク展」、2007年10月6日-2008年1月6日開催、同展覧会カタログの編集補助、作品解説の分担執筆

[調査活動]

収蔵作品調査等:ディルク・パウツ派《荊冠のキリスト》(P.1980-3)および《悲しみの聖母》(購入候補作品)の調査

陳岡めぐみ/Megumi JINGAOKA

[展覧会調査活動]

「コロー 光と追憶の協奏曲」展の調査・準備

[研究活動]

論文等:『『ラール』L'Art—産業への芸術の応用、あるいはブルジョワジーのための美術雑誌』『比較文学研究』90号、2007年10月、pp.4-23

作品解説『国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパ美術の精華』カタログ

「島本浣『美術カタログ論—記録・記憶・言説』」(書評)『比較文学研究』89号、2007年5月、pp.198-201

[教育活動]

博物館職員講習講義「西洋美術史」、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、2007年5月24日

国立美術館巡回展講演会「19世紀フランス美術と自然主義」、姫路市立美術館、2007年11月23日

[外部資金]

平成18-20年度科学研究費若手(B)「芸術遺産/資本の表象—19世紀仏の挿絵入り美術出版物に関する調査研究」

[社会貢献]

各種委員会委員等: 東大比較文学会書評委員

高梨光正/Mitsumasa TAKANASHI

[展覧会]

国立西洋美術館:「パルマ イタリア美術、もう一つの都」、2007年5月29日-8月26日開催、同展覧会カタログの編集

[研究活動]

論文等:「明暗において崇高な」『パルマ イタリア美術、もう一つの都』展カタログ、読売新聞社、2007年、pp.38-43

シンポジウム:「パルマ派美術研究の現在」の開催
2007年度科学研究費補助金(基盤研究(C))、題目「15-17世紀パルマ派美術の歴史的再構築に関する調査研究」(研究代表者 高梨光正)にともなうシンポジウム、国立西洋美術館講堂、2007年8月10日
招聘研究者 テキサスクリスト教大学教授バベット・ボーン、テキサス大学准教授メアリー・ヴァッカーロ

口頭発表:「ピッツィ美術館所蔵、ジョルジョ・ガンディーニ・デル・ゲラーノ(?)《聖母子と聖ミカエル、幼い洗礼者聖ヨハネ、聖クリストフォルス》*Virgine and Child with SS. Michael-Angel, John, Christophorus*を巡る調査報告」、シンポジウム:「パルマ派美術研究の現在」(国立西洋美術館講堂、8月10日)

「旧松方コレクションに由来するイタリア絵画の調査報告」、美術史学会東支部例会、東京芸術大学、2008年1月26日

[調査活動]

収蔵作品調査等: 個人蔵旧松方コレクションの15-18世紀イタリア絵画および素描(テンペラ板絵3点および素描17点)の来歴調査および作者同定を含む美術史的調査

国立西洋美術館所蔵グエルチーノ《ゴリアテの頭をもつダヴィデ》(P.1998-1)のパルマのファルネーゼコレクションからの来歴に関する調査

国立西洋美術館所蔵エミリア派《ヴァーナスとクピド》(P.1962-3)のパルマ派作者および来歴に関する調査、赤外線による科学調査

ディルク・パウツ派《荊冠のキリスト》(P.1980-3)および《悲しみの聖母》(購入候補作品)の調査

2007年度科学研究費補助金(基盤研究(C))、題目「15-17世紀パルマ派美術の歴史的再構築に関する調査研究」(研究代表者 高梨光正)

展覧会調査:2009年9月開催予定「古代ローマ彫刻」展開催準備

[その他]

イギリス、ギャルピン楽器学協会員
日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会員

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

「Fun with Collection 見る楽しみ・知る喜び—美術史・市場・修復編」企画・構成・実施、2007年7月1日-8月31日

「パルマ展」ジュニア・バスポート

インターンシップ・プログラム指導

ボランティア・プログラム指導

小・中学校教員のための夏期研修会の企画・実施

ファミリープログラム企画・実施

平成19年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、2007年8月6日-8日

国立美術館アートカードセット開発

[報告書]

平成19年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、2007年11月17日

[その他の活動]

2008年Fun with Collectionの準備・調査

2009年6月開催予定小企画展準備・調査

短期在外研究「高齢者プログラム調査」ロンドン(U.K.)、2008年3月3日-5月2日

全国美術館会議会共同企画および実施:第32回会合、2008年2月28日・29日

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2007年4月-2008年3月

一橋大学大学院言語社会研究科講師、2007年10月2日-2008年3月23日

武蔵野美術大学通信教育課程「造形ファイル」外部評価委員、2006年11月1日-2009年3月31日

財団法人日本海事科学振興財団評議員、2006年10月1日-2008年9月30日

村上博哉/Hiroya MURAKAMI

[講演等]

「ルソーの都会風景と日本の洋画家たち」(「ルソーと日本」シンポジウム、島根県立美術館、2007年4月22日)

「近代の風景画」(国立美術館巡回展関連講演会、松本市美術館、2007年12月22日)

[その他]

東京大学大学院非常勤講師(文化資源学)

全国美術館会議企画担当幹事

『美術史』査読委員

横山佐紀/Saki YOKOYAMA

[展覧会関係教育普及活動]

イタリア・ルネサンスの版画展:講演会実施

パルマ展:和文作品リスト、英文作品リスト、会場作品解説パネル、講

演会実施、先生のための鑑賞プログラム実施、学校団体向けオリエンテーション

ムンク展：和文作品リスト、英文作品リスト、会場作品解説パネル、講演会実施、映画上映会実施、先生のための鑑賞プログラム実施、障がい者のための鑑賞プログラム「コンサートとともに楽しむムンク展特別鑑賞会」企画・実施、学校団体・教員向けオリエンテーション

ウルビーノのヴィーナス展：和文作品リスト、英文作品リスト、会場作品解説パネル、講演会実施、会場用作品解説パネル拡大文字版(A4版)制作、上野ロータリークラブ卓話「ウルビーノのヴィーナス展概要」、2008年1月31日

[常設展関連教育普及活動]

FUN DAY 2007企画・実施、2007年5月12日・13日

障がい者のための常設展特別鑑賞会、企画・実施、2007年4月14日

「祈りの中世—ロマネスク美術写真展」講演会実施

「上野さくらまつり」講演会実施

「上野さくらまつり」関連パンフレット制作「春・うえの・桜 花で巡るコレクション」

常設展作品リスト(和文・英文)制作

[調査・研究活動]

全日本博物館学会参加、お茶の水女子大学、2007年6月3日

文化資源学会第12回研究会参加、東京都美術館、2007年10月27日

平成19年度博物館職員講習講師(西洋美術史・3時間)、2007年5月23日

平成19年度笹川科学研究助成「美術館における高齢者対象プログラム開発のための基礎研究—高齢来館者ニーズと学習に適合したプログラム内容の提案」(研究代表者：国立西洋美術館学芸課教育普及室 酒井敦子)共同研究者

[その他]

OPEN museum プロジェクト：パンフレット、プログラム案内制作

サービスデイズ、企画・準備、2007年9月22-24日実施

春の OPEN museum 協力、2008年3月25日-30日

全日本博物館学会奨励賞受賞

『ゼフェュロス』No.32 ファン・デー報告「FUN DAY 2007 を終えて」

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[展覧会企画・構成]

「ウルビーノのヴィーナス—古代からルネサンス、美の女神の系譜」展、国立西洋美術館、2008年3月4日-5月18日

[研究活動]

著書：『ウルビーノのヴィーナス—古代からルネサンス、美の女神の系譜』展カタログ

論文：「横たわる裸婦の図像と《ウルビーノのヴィーナス》」上記カタログ、pp.42-47

翻訳：上記カタログ作品解説等

[研究発表]

シンポジウム「ルネサンスのエロティック美術」発表「ウルビーノのヴィーナス展紹介」、国立西洋美術館講堂、2008年3月29日

[教育活動]

日本経営クラブ講演「ウルビーノのヴィーナス展について」、国立西洋美術館、2008年3月7日

イタリア文化会館講演「ウルビーノのヴィーナス展の概要」、イタリア文化会館、2008年3月13日

[普及活動]

来館者案内：常陸宮妃殿下、2008年3月11日

[その他]

フィレンツェ文化財・美術館特別監督局客員研究員(2007年4月22日-10月21日)